



# 労使4団体で設立した 新しいNPOの活動 L.W.サポートをご紹介します。

本誌「L.W.マガジン」は、「少子化対策ならびにワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)への取り組み」を  
主な目的として、静岡県経営者協会、連合静岡、静岡県労協、地域活性化支援センターの4団体により設立された  
NPO法人L.W.サポートが発行主体となっています。

私ども静岡県経営者協会、  
連合静岡、静岡県労協、  
らびにNPO法人地域活  
性化支援センターは、それ  
の立脚点の相違を越えて、  
ワークライフバランスへの  
取り組みを通じた少子化対  
策に貢献すべく、労使協働  
による円滑な活動を目的と  
して、NPO法人L.W.サポ  
ートを2007年8月1日  
設立いたしました。

本NPO法人の活動領域  
は、子育て支援としての取  
組みのみならず、子供や家  
庭を持たない若い勤労者に  
対するワーク・ライフ・バ  
ランスの取り組みとして、各  
種交流イベントの開催を企  
図しており、地域で活躍す  
る若い人々に対するコミュ  
ニケーション技術の習得と  
交流機会の提供を通して、個  
々のポテンシャルを高め世界  
に通用する人材の育成と、  
静岡県の次代を担う人々の  
将来に渡るネットワークづ  
くりを図るとともに、異性  
との出会いの場も創出し、  
広義の少子化対策としても  
貢献いたします。

NPO法人L.W.サポート  
においては、連合組合員約  
20万人の枠を超え、静岡県  
の全労働者160万人を根  
拠にワークライフバランス  
をテーマとした活動の基盤  
づくりを目指しております。



日本労働組合総連合会  
静岡県連合会  
会長 吉岡 秀規

この度の「L.W.マガジン」  
による県内企業にお勧めの  
皆さまへの情報発信は、「仕  
事と生活の調和」の実現に  
向けた、ひとつの切り口と  
して大変有用なものと考  
えています。



社団法人  
静岡県経営者協会  
専務理事 青木 清高

に、今後、活動を通して外  
部組織との有機的な連携お  
よびネットワーク構築を図  
り、連合組合員のみならず  
様々な環境で働く人々との  
連携の糸口を見出したい  
と考えております。

に、今後、活動を通して外  
部組織との有機的な連携お  
よびネットワーク構築を図  
り、連合組合員のみならず  
様々な環境で働く人々との  
連携の糸口を見出したい  
と考えております。

に次世代を担う若年従業員  
の皆さまを対象とした交流  
の場を広げ、コミュニケーション力向上と、晩婚化・  
非婚化に対する少子化対策  
への取り組みに向けて、関  
係者との連携を強化してま  
いります。

に次世代を担う若年従業員  
の皆さまを対象とした交流  
の場を広げ、コミュニケーション力向上と、晩婚化・  
非婚化に対する少子化対策  
への取り組みに向けて、関  
係者との連携を強化してま  
いります。

国や企業の取り組みは、  
男女の意識の変化、少子高  
齢化の進行を背景とした整  
く人々の意識の変化に伴い  
「ワーク・ライフ・バランス  
(仕事と生活の調和)」の名  
の下に、私たちの仕事を取  
り巻く環境だけでなく、プ  
ライベートな生活全般にも  
配慮してゆく方向で幅が広  
がってきています。私たち  
のひとりひとりも、あらゆ



NPO法人地域活性化  
支援センター  
理事長 志垣 恭平

静岡県労協の抱える幅  
広い対象と課題の中で、少  
子化対策等については労使  
協働による活動が不可欠な  
分野であると考えワークラ  
イフバランスへの取り組み  
をテーマとした新たな  
NPO組織づくりを参画し  
ています。L.W.マガジンの  
創刊は、私どもの今後の取  
り組みに対するひとつの提  
案として位置づけられ、ま



静岡県労働者福祉協議会  
会長 平野 哲司

る意味での豊かな生活を自  
指して、仕事と生活の調和  
について自らの問題として  
考えていかなければならな  
い時期が来ているのではな  
いかと考え、充実したフラ  
イベートライフのためのネ  
ットワーキングツール「L.W.  
マガジン」の発行を支援し  
てまいりたいと考えていま  
す。

る意味での豊かな生活を自  
指して、仕事と生活の調和  
について自らの問題として  
考えていかなければならな  
い時期が来ているのではな  
いかと考え、充実したフラ  
イベートライフのためのネ  
ットワーキングツール「L.W.  
マガジン」の発行を支援し  
てまいりたいと考えていま  
す。

た現実的なカタチとして機  
能しはじめるとは、大支  
意味のあることであり産ば  
しいことであると思えます。  
留保の率直なご意見を伺い  
ながら進化し続けてゆくこ  
とを希望いたします。

た現実的なカタチとして機  
能しはじめるとは、大支  
意味のあることであり産ば  
しいことであると思えます。  
留保の率直なご意見を伺い  
ながら進化し続けてゆくこ  
とを希望いたします。

- |    |                                   |       |
|----|-----------------------------------|-------|
| 理事 | 社団法人 静岡県経営者協会 専務理事                | 青木 清高 |
| 理事 | 日本労働組合総連合会 静岡県連合会 会長              | 吉岡 秀規 |
| 理事 | 静岡県労働者福祉協議会 事務局長                  | 加藤 清  |
| 理事 | 特定非営利活動法人 地域活性化支援センター 理事長         | 志垣 恭平 |
| 顧問 | 千葉商科大学 学長/富士通総研経済研究所 理事長/元内閣府特命顧問 | 鳥田 晴雄 |

特定非営利活動法人  
L.W.サポート